

情報化推進事業 (情報化推進事業会計)

1. 実施方針

(1) 達成目標

- ① ITの活用による情報化支援件数 3件
- ② 企業の自社ホームページの活用支援件数 5件
- ③ 出張セキュリティ講座開催企業数 10社

(2) 活動方針

IT活用により経営改善が見込まれる企業のニーズに合った支援を実施する。

また、財団業務の効率化のためのシステム化やインフラ環境改善等の取り組みを推進する。

- ① 県内中小企業のIT化支援
中小企業の生産性向上や業務効率化を図るため、生産管理、受注管理等に関するIT活用支援を行う。
- ② 県内中小企業支援情報の提供
中小企業の経営を支援するため、財団、国、県、関係機関からの支援施策情報を迅速かつ的確に提供する。
- ③ 財団内のシステム化の推進
事務事業を効率的に実施するため、財団インフラ環境の最適化を推進するとともに、セキュリティ対策を実施する。

2. 実施計画

中小企業情報化支援事業（一部基金事業）

【予算額 33,307千円】

- ① 県内中小企業のIT活用支援
ITの活用やシステム化で、より効率的な経営等に効果が見込まれる企業への支援を実施する。

ア) I T活用・システム導入支援

企業の生産管理や受注管理等のためのシステム導入や既存システムの改良を支援する。

生産性の向上やコスト削減のため、既存のシステムのリプレイスやクラウド化等を助言する。

イ) 企業の自社ホームページの活用支援

ホームページを営業ツール、人材調達として活用している企業に対し、更新作業の効率化やシステム化を支援する。

ウ) 企業のセキュリティ強化支援

企業における情報セキュリティ対策として相談対応や出張講習会を実施する。

② 支援情報の提供

中小企業の経営を支援するためのワンストップサービス提供機関として、財団の支援活動に関する情報のほか、国、県、関係支援機関の最新施策等の情報を提供する。

ア) インターネットによる情報提供

ホームページ「よかネット長崎」及び電子メールマガジンにより、最新の支援情報を迅速に提供する。

イ) 広報誌「広報サンテックス」による情報提供

財団の支援施策の情報、業務活動報告、元気企業のトップインタビュー、セキュリティに関する情報などを提供する。

・発行部数：2,000部（年2回発行）

③ 財団内インフラ環境の整備

財団内インフラ環境の基幹システムの機能向上、安定化のためのハードウェア、アプリケーションの更改や更新を行う。